The Gateway to Meiji Gakuin University 2026

明学のアドミッションポリシー

Including Recommended Books

教授からの
オススメ本掲載！

明治学院大学

大学の教育理念と教育目標

明治学院大学は、「キリスト教による人格教育」を建学の精神とし、“Do for Others（他者への貢献）”を教育理念に掲げています。大学での学びを通して、広く教養を培うとともに、各学部学科において専門分野に関する知識・技能および知的応用能力を身につけることにより、他者を理解し共に生きることのできる学生を育成し、社会に送り出すことを目的としています。

このような目的のもと、5つの教育目標を定めています。

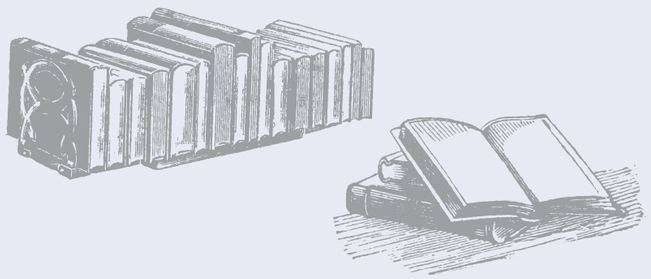
1 他者を理解する力を身につける。
2 分析力と構想力を身につける。
3 コミュニケーション力を身につける。
4 キャリアをデザインする力を身につける。
5 共生社会の担い手となる力を身につける。

求める受験生

（1）明治学院大学入学後、各学部学科での学びを進めていくため、高等学校等で修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力などの基礎的な能力を身につけていることを望みます。
（2）明治学院大学の教育理念を理解し、人間や社会に関心と探究心を持ち、真剣に勉学に励む意欲を持っていることを望みます。
（3）さまざまな課題に対してこれを自ら進んで解決し、社会に貢献しようとする意欲を持っていることを望みます。

この冊子の使い方

この冊子は「上質紙」という筆記用具で書き込みしやすい紙で作っています。気になることがあったらメモをしたり、響いた言葉にはマーカーをひいたり、読んだ本にチェックを入れたりして、あなただけの冊子にしてください。
（1）自分はどのようなことを学びたいか、その学びを通して将来どのようなことをしたいか考えながら、まずはP.02の学部学科一覧で興味のある学科を見つけてみましょう！
（2）興味を持った学科のページを開き、その学科では何を学ぶのか、どのような人材を求めているのかを読んで確かめてみましょう！そして、その学科で学ぶためには高校生活でどのような準備をするべきかも考えてみましょう。
（3）学科の推薦図書や先生からのメッセージをこれからのあなたの学びの参考にしてみてください。興味を持った本を一冊手に取り、最後まで読み通してみるなど、まずは行動してみましょう！
この冊子が、大学進学について、自身で「考えて行動する」きっかけの冊子となることを願っています。



学部学科一覧

学部	学科	コース・系列・専攻	キーワード	
文 学 部	英文学科	＊イギリス文学 ＊アメリカ文学 ＊英語学	英語コミュニケーション能力 異文化理解 英米文学	P.03
	フランス文学科		フランス語 フランス語圏の文化 伝統と革新	P.05
	芸術学科	＊音楽学　＊芸術メディア論 ＊映像芸術学　＊演劇身体表現 ＊美術史学　＊総合芸術学	芸術活動支援、芸術文化の普及 現代アート 文化の根源	P.07
経済学部	経済学科	＊ポリシー・アナリシス ＊企業・制度デザイン ＊グローバル・スタディーズ	世界と日本の経済問題と経済政策 個人・組織の行動に関する経済理論 実践的データ分析	P.09
	経営学科		経営戦略 マーケティング 商品の生産・流通・販売	P.11
	国際経営学科		国際社会での企業活動 地球規模での商品展開 国際社会で活躍するための語学力	P.13
社会学部	社会学科	＊文化とメディア ＊生命とアイデンティティ ＊環境とコミュニティ	他者と自文化の理解 ジェンダー、都市、エスニシティ 社会調査士	P.15
	社会福祉学科	＊ソーシャルワーク ＊福祉開発	安心して暮らせる社会の仕組み 国際協力・開発援助 ソーシャルワーカー	P.17
法 学 部	法律学科	＊法曹コース（任意選択可能）	法的なものの考え方（リーガルマインド） 社会のルール 法曹・資格、公務員、金融・保険	P.19
	消費情報環境法学科		高度情報化社会のコンピュータースキル 消費生活・企業活動・環境問題と法律 法律の理論と実務の実践	P.21
	グローバル法学科		法的な解決能力 実践的なコミュニケーション能力 柔軟な異文化理解力	P.23
	政治学科		主体性とコミュニケーション能力 社会を分析する手法 地域の身近な問題から国際関係まで	P.25
国際学部	国際学科	＊平和研究　＊環境問題 ＊多文化社会　＊比較文化 ＊国際・比較経済　＊比較法政	国際紛争 国際交流・異文化理解 国際協力機関	P.27
	国際キャリア学科		グローバル社会での能力発揮 国際協力機関、多国籍企業 生涯にわたる自己のキャリア	P.29
心理学部	心理学科		こころの仕組み・対人関係 心理データ解析 心理職（公認心理師・臨床心理士）	P.31
	教育発達学科	＊児童発達 ＊特別支援 ＊国際教育	子どものこころ 不登校・いじめ問題 小学校・幼稚園、特別支援学校の教員	P.33
情報数理学部	情報数理学科	＊数理・量子情報 ＊AI・データサイエンス ＊情報システム・セキュリティ	数理の力を基礎から養う 最先端の人工知能（AI）技術 PBLによる実践的な教育	P.35

文学部
Faculty of Letters

英文学科

Department
of
English

人材養成上の目的・教育目標

学科の目指すもの

英文学科の教育目標は、一つには、英語による文学や文化を読解し分析することで、人間とは何かを深く考え英語圏社会の理解を深めることです。またもう一つには、英語という言語をいろいろな面から科学的に研究することで、ことばとはどんなものか、またことばはどのようにはたらくのか、について深く理解することも、英文学科の教育目標です。さらに、これらの目標を達成することと合わせて実践的な英語コミュニケーション能力を磨くことを目指します。国際語である英語の運用能力を身につけることで、他者と意思疎通し、他者を理解し共に生き、さまざまな社会や文化を深く理解することができるようになるでしょう。

求める人材像

こんな学生に来てほしい！

英文学科では、左記の教育目標のもとに、以下のような受験生の入学を歓迎します。

(1) 英文学科で学んでいくにあたって、知識・技能、思考力・判断力また文章読解力・表現力等について、高等学校等で修得すべき基礎的な能力を身につけている受験生。
(2) 英語を熱心に学んで、英語圏の文化や文学作品あるいは言語についての学びを深めていくことを通じて、自分をよく知り、関心の対象を外の世界へと広げようとする意欲を持っている受験生。
(3) 本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”を理解・共感し、現代社会におこるさまざまな問題に関心を持ち、英文学科における主体的な学びを通して、社会において他者と共に生きる人材となる意欲を持っている受験生。

推薦図書

読んでみよう！

英文学科の各コースの教員から高校生の皆さんにお薦めする本は以下のとおりです。

イギリス文学コース

- 宮崎駿（2011）『本へのとびら』（岩波新書）岩波書店
- 森山至貴（2020）『10代から知っておきたい あなたを閉じこめる「ずるい言葉」』WAVE出版
- 歴史の謎を探る会編（2012）『イギリスの歴史が2時間でわかる本』河出書房新社
- Colin Joyce（2011）『*Let's England—A Foreign Correspondent Comes Home*』＊翻訳版（森田浩之訳）『「イギリス社会」入門ー日本人に伝えたい本当の英国 』（NHK出版新書）NHK出版
- ジョージ・オーウェル著（山形浩生訳）（2017）『動物農場：新訳版』（ハヤカワepi文庫）早川書房
- ジェラルディン・マコックラン著（金原瑞人訳）（2009）『シェイクスピア物語集ー知っておきたい代表作10』偕成社
- Michael Bond（2003）『*A Bear Called Paddington*』HarperCollins

アメリカ文学コース

- 藤井光（2016）『ターミナルから荒れ地へ：「アメリカ」なき時代のアメリカ文学』中央公論新社
- 亀井俊介・川本皓嗣編（1993）『アメリカ名詩選』（岩波文庫）岩波書店
- マーク・トウェイン著（西田実訳）（2014）『ハックルベリー・フィンの冒険』［上下］（ワイド版岩波文庫）岩波書店
- メルヴィル著（八木敏雄訳）（2004）『白鯨』［上中下］（岩波文庫）岩波書店
- スコット・フィッツジェラルド著（村上春樹訳）（2006）『グレート・ギャツビー』中央公論新社
- J.D.Salinger（2018）『*The Catcher in the Rye*』Penguin
- Paul Auster（2011）『*The New York Trilogy*』Faber and Faber

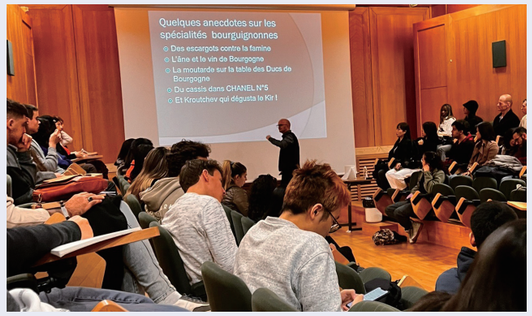
英語学コース

- 窪薗晴夫編著（2019）『よくわかる言語学』ミネルヴァ書房
- 深澤俊昭（2015）『英語の発音パーフェクト学習事典：英語の音声のすべてがここにある！改訂版』アルク
- 南條竹則（2018）『英語とは何か』（インターナショナル新書）集英社インターナショナル
- スティーブン・ピンカー著（椋田直子訳）（1995）『言語を生みだす本能』［上下］（NHKブックス）NHK出版
- マーク・C. ベイカー著（郡司隆男訳）（2010）『言語のレシピ：多様性にひそむ普遍性をもとめて 』（岩波現代文庫）岩波書店
- 福井直樹（2012）『新・自然科学としての言語学ー生成文法とは何か』（ちくま学芸文庫）筑摩書房

文学部
Faculty of Letters

フランス文学科

Department
of
French Literature



人材養成上の目的・教育目標

学科の目指すもの

フランス文学科が目指すのは、フランスやヨーロッパに視野を広げることで、ともすれば画一化されがちな日本社会に向かってユニークな発想を提案できる、斬新な視点と創造性を持った人材の養成です。そのため、次のような教育目標を定めています。一つには、フランスとフランス語の話されている地域の文学・芸術・歴史・思想の研究を通じて、感性と知性を身につけること。もう一つには、自分の着想を確実に他の人々に伝えるための表現力を鍛え、真に豊かな文明のありかたをともに追求することです。

求める人材像

こんな学生に来てほしい！

(1) 入学後の学びを進めていくため、知識・技能、思考力・判断力および文章読解力・表現力などにおいて、高等学校等で修得すべき基礎的な能力を身につけている受験生を求めます。

(2) フランスおよびフランス語の話されている地域には、日本の文化とも英語圏の文化とも異なる、多様で刺激に満ちた文化が存在します。そうした地域の言語、文学、歴史、芸術、思想や、さらには広くヨーロッパの文化を学び、常識にとらわれない発想や斬新な提言ができるようになりたいと思っている受験生を求めます。

(3) 本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”に沿い、主体的な学びを通じて現代社会におけるさまざまな問題に関わり、社会の担い手としての責任を果したいと願う受験生を求めます。

推薦図書

読んでみよう！

フランス文学科の教員が高校生の皆さんに推薦する図書は以下のとおりです。

文学

- アニー・エルノー著（堀茂樹、菊地よしみ訳）（2022）『嫉妬／事件』（ハヤカワ epi 文庫）早川書房
- アルベール・カミュ著（中条省平訳）（2021）『ペスト』（光文社古典新訳文庫）光文社
- モアメド・ムブガル・サール著（野崎歓訳）（2023）『人類の深奥に秘められた記憶』集英社
- ジュール・シュペルヴィエル著（永田千奈訳）（2006）『海に住む少女』（光文社古典新訳文庫）光文社
- マルグリット・デュラス著（清水徹訳）（1992）『愛人　ラマン』（河出文庫）河出書房新社
- バルザック著（中村佳子訳）（2016）『ゴリオ爺さん』（光文社古典新訳文庫）光文社
- サミュエル・ベケット著（安堂信也、高橋康也訳）（2013）『ゴドーを待ちながら』（白水Uブックス）白水社
- モーパッサン著（太田浩一訳）（2016）『脂肪の塊／ロンドリ姉妹』（光文社古典新訳文庫）光文社
- パトリック・モディアノ著（平中悠一訳）（2011）『失われた時のカフェで』作品社
- ダニー・ラフェリエール著（立花英裕訳）（2014）『吾輩は日本作家である』藤原書店

言語

- 白井恭弘（2013）『ことばの力学ー応用言語学への招待』（岩波新書）岩波書店

思想

- ヴォルテール著（中川信訳）（2011）『寛容論』（中公文庫）中央公論新社
- デカルト著（谷川多佳子訳）（1997）『方法序説』（岩波文庫）岩波書店
- ルソー著（中山元訳）（2008）『人間不平等起源論』（光文社古典新訳文庫）光文社
- 慎改康之（2019）『ミシェル・フーコー』（岩波新書）岩波書店
- 千葉雅也（2022）『現代思想入門』（講談社現代新書）講談社

歴史・社会

- モナ・ショレ著（いぶきけい訳）（2022）『魔女　女性たちの不屈の力』国書刊行会
- 安達正勝（2008）『物語フランス革命　バスチーユ陥落からナポレオン戴冠まで』（中公新書）中央公論新社
- 伊達聖伸（2018）『ライシテから読む現代フランスー政治と宗教のいま』（岩波新書）岩波書店
- 中島さおり（2016）『哲学する子どもたち　バカロレアの国フランスの教育事情』河出書房新社

美術

- 木村泰司（2018）『印象派という革命』（ちくま文庫）筑摩書房
- 高階秀爾（2017）『近代絵画史（上）増補版　ロマン主義、印象派、ゴッホ』（中公新書）中央公論新社
- 高階秀爾（2017）『近代絵画史（下）増補版　世紀末絵画、ピカソ、シュルレアリスム』（中公新書）中央公論新社
- 中野京子（2011）『印象派で「近代」を読む』（NHK 出版新書）NHK 出版
- 若桑みどり（2005）『イメージを読む』（ちくま学芸文庫）筑摩書房

文学部
Faculty of Letters

芸術学科

Department
of
Art Studies

人材養成上の目的・教育目標

学科の目指すもの

芸術学科の教育理念は、本学の建学の精神にのっとり、芸術を愛し深く理解すると共に、芸術を通して広く社会・文化に貢献できる人材を育成することです。

芸術学科は音楽学コース、映像芸術学コース、美術史学コース、芸術メディア論コース、演劇身体表現コース、総合芸術学コースの六つのコースで構成されています。いずれのコースでも、いわゆる実技者養成ではなく、芸術に関する理論や歴史を学び、芸術にまつわる表現活動を通してコミュニケーションのあり方などを幅広く身につけることを目的としています。芸術学科で学ぶ皆さんは、一人一人の芸術への興味の芽生えを大切に育て、人間・文化・社会に対する知的好奇心を養える環境で学ぶことができるのです。

芸術を学ぶということは、人間の表現活動に対する観察力、自分と他者の関わりへの洞察力、社会での問題を発見し深く考察する思考力、それをさまざまな表現媒体で伝達する表現力、柔軟かつ斬新な発想を持って現実を動かしていく実践力などを培うことにつながります。これまで人間がさまざまな時代の中で行ってきた創造行為や表現活動の諸相を理解し、他者に対するしなやかな想像力や未来の文化を構想する創造力を身につけることを目指していきましょう。

求める人材像

こんな学生に来てほしい！

(1) 芸術・アート・文化などに常日頃から強い愛着や関心を持ち、その深みや拡がりを理解したいという欲求や、新たな表現の可能性を切り開いていこうとする意欲を持ち、「個性的」「人と違う」ことを前向きにとらえる受験生を歓迎します。

(2) 本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”の理念に共感し、社会のさまざまな現象や問題に対する好奇心を培い、芸術学科での主体的な学びを通して、多様性を評価する共生社会の担い手となる挑戦者を求めます。

(3) 芸術学科の学びに取り組む上で、知識・思考力・表現力・判断力・文章読解力などにおける、高等学校で修得すべき基礎的な能力を身につけていることは必要です。

教員からのメッセージ

芸術学科では特に推薦書を指定していません。芸術のそれぞれの専門分野で読んでほしい書籍はたくさんあります。でもその前に、これから芸術学科を受験しようと思っている皆さんには、やってほしいことがあるのです。

芸術学科では、芸術のさまざまな芸術表現――美術、音楽、映画、演劇、身体表現、メディア表現（デジタルアート・ドラマ・漫画・アニメ etc.）――について学ぶことができますが、実際に作品を前にして、自分はどのような芸術領域に関心を持っているのか、どういう作品が好きなのか、なぜそのような表現に魅かれるのか、という点についてしっかり考えてみることも大切です。そのためには、たとえば、興味のある分野や領域に関わるさまざまな展覧会、映画館、劇場などを探して、足を運び、作品と直に向き合うことをお勧めします。

そして、図書館や大きな本屋さんに行って、自分が好きな領域や作品、芸術家や表現者について、どんな書籍が出ているか探し、関心が動いたものから手に取ってみることを勧めます。そこから興味が広がったらどんどん他の本も読んでみましょう。美術館のミュージアム・ショップなどでも、本との素敵な出会いがあるかもしれません。

芸術は主体性がないと学べません。芸術学科では自分の好きなことをとことん学びたいと思っている学生を歓迎します。なぜ大学で芸術を学びたいのか……それを考え始めたとき、すでにあなたの「学び」は始まっているのです。

経済学部
Faculty of Economics

経済学科

Department
of
Economics

人材養成上の目的・教育目標

学科の目指すもの

経済学科の人材養成上の目的は、現代の複雑な経済を、社会科学としての経済学の知識をもとに理解し、冷静な判断を下し、そのうえで行動できる人材を養成することです。そのため経済学科の教育目標は、第一に、経済の基本的なメカニズムの理解に必要な、学問としての経済学の基礎を身につけること、第二に経済学的センスを磨き現実の問題に的確に対処できる応用能力を養成することです。

求める人材像

こんな学生に来てほしい！

(1) 経済学科における学びに取り組む上で、知識・技能、思考力・判断力・表現力等において、高等学校等で修得すべき基礎的な能力を身につけていることを求めます。

(2) 本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”および経済学科の教育方針や教育目標、また経済問題を始め、現在・過去のさまざまな問題に興味と関心を持ち、経済学分野を主体的に探求する意欲を持っている人を求めています。

(3) 演習・実習に積極的に参加し、人とのコミュニケーションを大切にする人を期待しています。

推薦図書

読んでみよう！

高校ではあまり経済学に触れる機会は少ないかもしれませんが、経済学は我々の日々の生活や行動と密接に結びついた学問です。

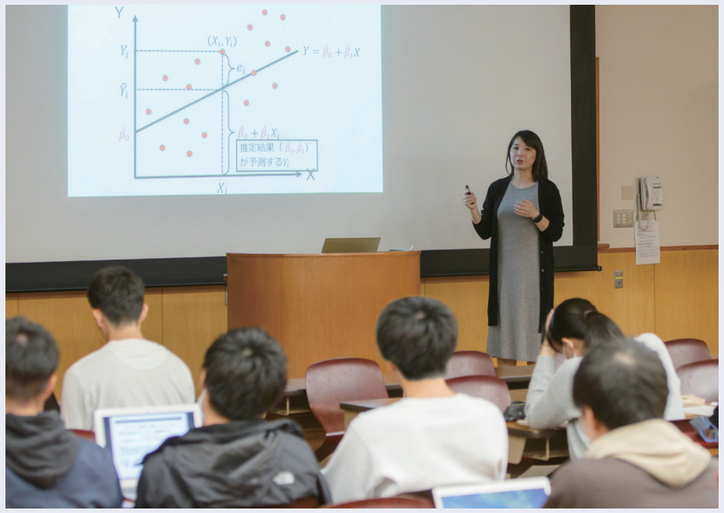
関連図書に目を通すことで、経済学の面白さと有用さを少しでも知って頂ければと思います。

経済学入門

- ヤニス・バルファキス著（関美和訳）（2019）『父が娘に語る美しく、深く、壮大で、とんでもなくわかりやすい経済の話。』ダイヤモンド社
- アビジット・V・バナジー、エステル・デュフロ著（村井章子訳）（2024）『絶望を希望に変える経済学』（日経ビジネス人文庫）日経 BP 日本経済新聞出版
- 伊藤秀史（2012）『ひたすら読むエコノミクス』有斐閣
- 伊藤公一朗（2017）『データ分析の力』（光文社新書）光文社
- 大竹文雄（2022）『行動経済学の処方箋』（中公新書）中央公論新社

時事問題

- ハンス・ロスリングほか著（上杉周作、関美和訳）（2019）『FACTFULNESS 10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣』日経 BP
- 日本経済新聞社編（2024）『Q＆A 日本経済のニュースがわかる! 2025年版』日経 BP 日本経済新聞出版



経済学部
Faculty of Economics

経営学科

Department
of
Business Administration

人材養成上の目的・教育目標

学科の目指すもの

複雑化・高度化する企業経営上の課題、また社会的諸課題を経営学領域の専門的知識と思考力によって解決できる人が求められています。このような社会の要請に応えるために、経営学科では、経営学・マーケティング・会計学の各分野の知識と、各分野を横断的にとらえ課題を解決する思考力を備えた「良識あるビジネス・パーソン」の育成を目標としています。

求める人材像

こんな学生に来てほしい！

経営学科では、以下のような人の入学を歓迎します。

(1) 経営学科における学びに取り組む上で、知識・技能・思考力・判断力・表現力等において、高等学校等で習得すべき基礎的な能力を身につけている。
(2) 経済問題をはじめ、現在、過去のさまざまな問題に関心を持ち、それらを主体的に探求する意欲がある。
(3) 経営学分野の主体的な学びを通して身につけた知識・技能・思考力・判断力・表現力を用いて、人とのコミュニケーションを大切にし、本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”を実践する意欲を持っている。

推薦図書

読んでみよう！

経営学の書籍

広い意味での経営学は、「売る」「買う」「働く」などの経営現象を科学する学問です。例えば、なぜある製品がよく売れているのかを説明したり、将来どのくらい売れるかを予測したり、売上げを増やすためのプロモーションを考えたりするのが経営学です。高校生の皆さんには、身の回りのさまざまな経営現象に興味を持ち、なぜその現象が起きるのかを自分なりに考えてみてもらいたいと思います。その際、ヒントを与えてくれるのが経営学の書籍です。経営学の書籍には、なぜその現象が起こるのかという問いに答えるための「道具」が詰まっています。

経営学

- 三谷宏治（2013）『経営戦略全史』ディスカヴァー・トゥエンティワン
- 伊波和恵、竹内倫和、高石光一編著（2014）『マネジメントの心理学』ミネルヴァ書房
- マスビェア、ラスムセン著（田沢恭子訳）（2015）『なぜデータ主義は失敗するのか』早川書房

マーケティング

- 池尾恭一（2016）『入門・マーケティング戦略』有斐閣
- 青木幸弘編（2015）『ケースに学ぶマーケティング』有斐閣
- 青木幸弘（2010）『消費者行動の知識』（日経文庫）日本経済新聞出版社

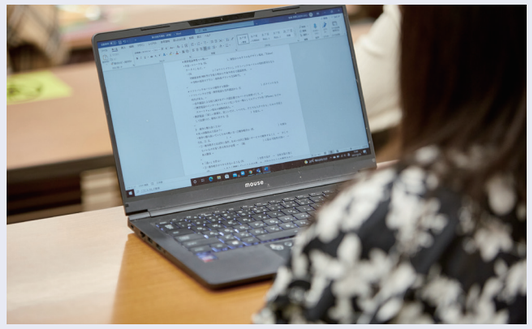
会計学

- ドラッカー著（上田惇生訳）（2007）『創造する経営者』ダイヤモンド社
- 稲盛和夫（2000）『稲盛和夫の実学ー経営と会計ー』（日経ビジネス人文庫）日本経済新聞出版社
- 桜井久勝（2018）『会計学入門（第５版）』（日経文庫）日本経済新聞出版社

教員の著書

大学の授業、特に、ゼミや応用科目は、担当教員の専門性が色濃く反映されますから、同じ経営学科や学部でも、大学によって学ぶ内容が結構大きく違ってきます。私たち経営学科の教員が近年出版した本をあげておきますので、大学で経営学を学びたいと考えている方は、ぜひ読んでみてください。また Google scholar や J-Stage といった論文検索サイトで検索すると、論文の全文や要旨を無料でダウンロードできます。専門的な内容ですから、ざっと閲覧するだけで十分です。経営学科の教員がどんなことを研究しているかを感じとって、進路選択の参考にしていただければと思います。

- 北浦貴士（2014）『企業統治と会計行動』東京大学出版会
- 森田正隆監修、城南信用金庫企画部編著（2019）『現場発！「ともに生きる社会」の経営学2019』城南信用金庫
- 斉藤嘉一（2015）『ネットワークと消費者行動』千倉書房
- 林祥平（2018）『一体感のマネジメント：人事異動のダイナミズム』白桃書房



経済学部
Faculty of Economics

国際経営学科

Department
of
International Business

人材養成上の目的・教育目標

学科の目指すもの

急速に国際化が進む経済環境に対応して、企業ではこれまで以上にグローバルに活躍できる人材が求められています。国際経営学科では、こうした新しい時代の要請に応えて、企業の諸問題をグローバルな市場環境のもとで正しく理解できる基礎学力を養うとともに、それをビジネスに活かす国際的なコミュニケーション能力を高めることを教育目標としています。

この目標を達成するため、国際経営学科では、経済・経営・法律や「データ分析入門」など、企業の分析に不可欠なコアの学力を養う入門科目にくわえて、さらに、それぞれの応用科目にみられるように、国際的な市場や市場制度と、それに対する企業の適応行動を学べるようなカリキュラムを提供しています。

また、2年次のカリキュラム留学や海外フィールドスタディなど、海外の言語や国際的なビジネスの実態にも通じたグローバル・マネジャーを育成します。

求める人材像

こんな学生に来てほしい！

国際経営学科では、左記の教育目標を受けて、企業をめぐる国際的な市場環境に関心を持ち、ビジネスを通じた社会貢献を将来の夢とする意欲ある受験生の入学を歓迎します。具体的には次のとおりです。

(1) 国際経営学科における学びに取り組む上で、知識・技能、思考力・判断力・表現力等において、高等学校等で修得すべき基礎的な能力を身につけていることが期待されます。

(2) 本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”および国際経営学科の教育方針や教育目標、また経済問題および企業を取り巻く諸問題に興味と関心を持ち、異なる価値観および文化的背景を理解できるとともに、国際経営学分野の主体的な学びを通して共生社会の担い手となる意欲を持っていることが望ましいでしょう。

推薦図書

読んでみよう！

新聞の経済欄を読み、企業、経営に関する記事とともに海外ニュースに興味を持っていることが必要でしょう。

■トーマス・フリードマン著（伏見威蕃訳）（2010）『フラット化する世界（普及版）』［上中下］日本経済新聞出版社

■パンカジ・ゲマワット著（望月衛訳）（2009）『コークの味は国ごとに違うべきか』文藝春秋

■山田真哉（2005）『さおだけ屋はなぜ潰れないのか？　身近な疑問からはじめる会計学』（光文社新書）光文社

■山田真哉（2007）『食い逃げされてもバイトは雇うな　禁じられた数字』［上］（光文社新書）光文社

■山田真哉（2008）『「食い逃げされてもバイトは雇うな」なんて大間違い 禁じられた数字』［下］（光文社新書）光文社

■渡邉泉（2017）『会計学の誕生』（岩波新書）岩波書店

経済・経営についての比較的やさしい入門書

■ポール・クルーグマン著（山形浩生訳）（2009）『クルーグマン教授の経済入門』（ちくま学芸文庫）筑摩書房

■榊原清則（2013）『経営学入門（第2版）』［上下］（日経文庫）日本経済新聞出版社

■入山章栄（2012）『世界の経営学者はいま何を考えているのかー知られざるビジネスの知のフロンティア』英治出版

■石川城太、椋寛、菊地徹（2013）『国際経済学をつかむ（第2版）』有斐閣

■砂川伸幸（2017）『コーポレートファイナンス入門（第2版）』（日経文庫）日本経済新聞出版社

■田中靖浩（2018）『会計の世界史』日本経済新聞出版社

■吉原英樹（2021）『国際経営（第5版）』有斐閣アルマ

社会学部
Faculty of Sociology and Social Work

社会学科

Department
of
Sociology

人材養成上の目的・教育目標

学科の目指すもの

社会とは多様な他者と出会う場です。社会学科では、現代社会における諸問題について考察し、望ましい社会を構想し、その実現に向けて実践できる人を育成します。具体的には、①社会についての知識と深い理解、②それを論理的・批判的に考察する態度、③社会調査法など社会を実証的に分析する技能や④調査の結果やそれに基づく考察を表現し伝える技能を身につけて、それらを総合的に活用できるようになってほしいと考えています。

求める人材像

こんな学生に来てほしい！

社会学科では、自らの力を伸ばそうという意欲を持つ受験生を求めています。

(1) 高等学校等で修得した基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力を、社会学の学びにつなげる意欲のある受験生を歓迎します。
(2) 本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”と社会学科の教育目標に興味と関心を持ち、社会学の主体的な学びを通して共生社会の担い手となりたいと考える受験生を歓迎します。
(3) 物事を論理的・批判的に考察することが好きな人、社会のあたりまえを鵜呑みにせず、自ら課題を発見する力を磨きたい受験生を歓迎します。

推薦図書

読んでみよう！

私たちの暮らす社会がどのような仕組みで動いているのかを見えるようにする学問が社会学です。社会学的なものの見方を学ぶと、ときに常識をひっくり返すような柔軟な思考力と創造的な発想力を身につけることができます。社会学は非常に広い範囲を扱う学問で、対象はなんでもありなのですが、その扱い方にはコツがいります。大学ホームページ内の社会学部オリジナルサイト「社会学とはどのような学問か」（https://soc.meijigakuin.ac.jp/gakka/about/）でも教員が読んでほしい本を紹介していますので、ぜひ読んでみてください。何か引っかかるものを感じたら、あなたは社会学科向きかもしれません。

- 鮎川潤（2022）『少年犯罪―18歳、19歳をどう扱うべきか』新版（平凡社新書）平凡社
- 飯田高ほか編（2023）『世の中を知る、考える、変えていく 高校生からの社会科学講義』有斐閣
- 伊豫谷登士翁、吉原直樹、齋藤純一（2013）『コミュニティを再考する』（平凡社新書）平凡社
- 竹内洋（2008）『社会学の名著30』（ちくま新書）筑摩書房
- 長谷川公一（2021）『環境社会学入門―持続可能な未来をつくる』（ちくま新書）筑摩書房
- 福田充（2023）『新版 メディアとテロリズム』（新潮新書）新潮社
- 牧野百恵（2023）『ジェンダー格差―実証経済学は何を語るか』（中公新書）中央公論新社
- 松岡亮二（2019）『教育格差―階層・地域・学歴』（ちくま新書）筑摩書房
- 森山至貴（2017）『LGBTを読みとく―クィア・スタディーズ入門』（ちくま新書）筑摩書房
- 望月優大（2019）『ふたつの日本―「移民国家」の建前と現実』（講談社現代新書）講談社
- メアリー・C・ブリントン著（池村千秋訳）（2022）『縛られる日本人　人口減少をもたらす「規範」を打ち破れるか』（中公新書）中央公論新社

教員の著書

社会学科の教員が出版した著作のうち、高校生にも読みやすい新書や、授業で教科書として使っているものを紹介します。

- 石原俊（2019）『硫黄島―国策に翻弄された130年』（中公新書）中央公論新社
- 稲葉振一郎（2009）『社会学入門　〈多元化する時代〉をどう捉えるか』（NHKブックス）日本放送出版協会
- 稲葉振一郎（2021）『社会倫理学講義』（有斐閣アルマ）有斐閣
- 大久保遼（2023）『これからのメディア論』（y-knot）有斐閣
- 加藤秀一（2017）『はじめてのジェンダー論』（有斐閣ストゥディア）有斐閣
- 鬼頭美江（2023）『つながりの社会心理学　人を取り巻く「空気」を科学する』弘文堂
- 野沢慎司（2009）『ネットワーク論に何ができるか　「家族・コミュニティ問題」を解く』勁草書房
- 藤川賢、友澤悠季編（2023）『なぜ公害は続くのか　潜在・散在・長期化する被害』（シリーズ環境社会学講座）新泉社

社会学部
Faculty of Sociology and Social Work

社会福祉学科

Department
of
Social Work

人材養成上の目的・教育目標

学科の目指すもの

社会福祉学科の教育理念は、多様な人びとの存在とその基本的人権を尊重し、守り、暮らしやすい社会を創造することのできる福祉社会の担い手を育成することです。

そのために、社会生活上の人間の基本的ニーズや現代の生活課題を明らかにする方法を学びます。さらに、課題の解決のための政策や実践方法への理解を深めます。

社会福祉学科では、社会福祉の多様な担い手を育成するために、2つのコースを用意しています。

ソーシャルワークコースは、多様な人びとの生活課題に専門職として取り組み、支援することのできるソーシャルワーカーの育成を目指します。そのために、必要な人権意識やソーシャルワークの知識や方法について実践を通して学んでいきます。

福祉開発コースは、福祉社会の創造に貢献する人材の育成を目指します。広い社会的視野に立って、人間理解を深め、生活課題を分析する力や、多様な領域での社会問題解決のための方法を開発する力を身につけていきます。

求める人材像

こんな学生に来てほしい！

社会福祉学科における学びに取り組む上で、以下のような受験生の入学を歓迎します。

(1) 自律的な学びができる受験生
これから大学で学んでいく上での知識、技能、思考力、判断力、表現力などの学びの基本的な能力を身につけていることを望みます。

(2) 社会問題への関心を有する受験生
本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”の視点を持ち、現代社会に起きているさまざまな問題や課題に関心を持っている人を望みます。また社会福祉学の理論と実践に興味を持ち、お互いに認め合い、支えあう共生社会の担い手となる意欲を持って学んでいこうとする人を歓迎します。

(3) 実践を志向する受験生
これまで共生社会の実現にむけて自発的な社会貢献活動に取り組んできた実績を持つ人を望みます。また、現代社会における課題について、なぜこのような課題が生まれているのか、またどうしたら解決できるかということについて、具体的なプランやプロジェクトを構想しようとする意欲を持つ人も歓迎します。

推薦図書

読んでみよう！

社会福祉学は、理論と実践が深く結びついた学問であり、またその実践分野も幅広い領域に広がっています。

社会福祉学に興味を持つ皆さんに読んでいただきたい図書はたくさんあります。社会学部オリジナルサイトの「社会福祉学とはどのような学問か」（https://soc.meijigakuin.ac.jp/hukusi_gakka/about/）で、学科の教員がたくさんの推薦図書を紹介していますので、そちらも参考にしてください。

- 井手・柏木・加藤・中島（2019）『ソーシャルワーカー　「身近」を革命する人たち』（ちくま新書）筑摩書房
- 三島亜紀子著、平下耕三監修（2019）『マンガで考える障害者と社会の壁』生活書院
- 渡辺一史（2018）『なぜ人と人は支え合うのか　「障害」から考える』（ちくまプリマー新書）筑摩書房
- 松本俊彦編（2019）『「助けて」が言えない　SOSを出さない人に支援者は何ができるか』日本評論社
- 猪熊律子（2018）『#社会保障、はじめました。』SCICUS
- 澁谷智子（2022）『ヤングケアラーってなんだろう』（ちくまプリマー新書）筑摩書房
- ポール・タフ著（高山真由美訳）（2017）『私たちは子どもに何ができるのか』英治出版
- アマルティア・セン著（加藤幹雄訳）（2017）『グローバリゼーションと人間の安全保障』（ちくま学芸文庫）筑摩書房
- 筒井清輝（2022）『人権と国家ー理念の力と国際政治の現実』（岩波新書）岩波書店
- 西智弘ほか編著（2020）『社会的処方　孤立という病を地域のつながりで治す方法』学芸出版社
- 磯野真穂（2017）『医療者が語る答えなき世界　ー「いのちの守り人」の人類学』（ちくま新書）筑摩書房

法学部
Faculty of Law

法律学科

Department
of
Juridical Studies

人材養成上の目的・教育目標

学科の目指すもの

法律学科の教育理念は、本学の建学の精神にのっとり、法律学の基本的素養を備え、倫理観と責任感のある能動的な市民社会の担い手を育成することです。この理念のもと、法律学科では、『リーガルマインド』すなわち正義・公平の感覚、論理的思考力、他者を思いやる力などを身につけた人材を社会に送り出すことを教育目標としています。リーガルマインドを備えた人は、その職業や地位に関係なく、社会と積極的に関わり、法知識と法的思考を適切に用い、あらゆる場面において活躍し、社会に貢献することができるでしょう。

リーガルマインドを身につけるため、法律学科では、法知識と法的思考を系統的かつ段階的なカリキュラム編成にしたがって学びます。これにより、現代社会の諸問題を分析し、公正かつ論理的な判断で解決に導く能力を無理なく身につけることができます。また、少人数で学ぶ入門科目から最先端分野の発展科目まで、豊富な専門科目を提供するほか、学生の自主性を尊重し、法学部他学科の科目も基本的に履修可能としています。自由なスタイルで自らの学びを深め、将来の進路選択の可能性を広げましょう。法律学科の卒業生は、民間企業に就職するほか、抜群の実績をほこる公務員（国や都道府県、市町村、警察・消防など）、法曹など幅広い分野で活躍しています。法曹資格取得を目指す法曹コースも設置しています。

求める人材像

こんな学生に来てほしい！

法律学科では、学科の目指すものを理解するとともに、自らの夢を実現する意欲や社会貢献意欲のある受験生の入学を歓迎します。具体的には、次のとおりです。

（1）社会貢献意欲のある受験生
本学は、“Do for Others（他者への貢献）”という理念を掲げています。法律学科でも、社会と積極的に関わり、リーガルマインドを発揮し、あらゆる機会を通じて社会貢献しようとする意欲のある受験生を歓迎します。

（2）自分の頭で考えて判断し、行動しようとする受験生
価値観が多様化し、変化の激しい今日にあって、社会ではさまざまな主張や要素を考慮して判断できるバランス感覚や、自分の考えを論理的に主張できる能力を備えた人材が求められています。法律学科では、その前提として、受験生に、普段から物事を自分の頭で考えて行動すること、また常識的な判断ができることを求めます。

（3）目的意識を持った受験生
法律学は古い歴史を有しており、判例・学説の積み重ねにより、現在の法律・法律学が存在しています。他方で、これまで想定していなかった現代的な問題に対応することが必要な場面も少なくありません。法は社会のルールであり、幅広い分野に及びます。法律学科では、法律を学ぼうとする受験生に、社会問題と向き合い、フレッシュな感覚で問題を解決しようとする意志を有していることを期待します。

推薦図書

読んでみよう！

法律学科の教員が法律学に興味を持っている皆さんに手にとってもらいたいと考えている図書の一部を紹介します。中には少し難しいものも含まれますが、是非、手にとって読んでみてください。

■森村進（2001）『自由はどこまで可能か』（講談社現代新書）講談社

■佐々木毅（2007）『民主主義という不思議な仕組み』（ちくまプリマー新書）筑摩書房

■川島武宜（1967）『日本人の法意識』（岩波新書）岩波書店

■渡辺洋三・甲斐道太郎・広渡清吾・小森田秋夫編（1994）『日本社会と法』（岩波新書）岩波書店

■渡辺洋三（1998）『法とは何か（新版）』（岩波新書）岩波書店

■川嶋四郎（2022）『日本史のなかの裁判　日本人と司法の歩み』法律文化社

■原田國男（2017）『裁判の非情と人情』（岩波新書）岩波書店

■松田純（2018）『安楽死・尊厳死の現在』（中公新書）中央公論新社

■ルトガー・ブレグマン著（野中香方子訳）（2017）『隷属なき道　AIとの競争に勝つ ベーシックインカムと一日三時間労働』文藝春秋

■角田由紀子（2013）『性と法律』（岩波新書）岩波書店

■筒井淳也（2016）『結婚と家族のこれから』（光文社新書）光文社

■森岡孝二（2015）『雇用身分社会』（岩波新書）岩波書店

■福井健策（2015）『18歳の著作権入門』（ちくまプリマー新書）筑摩書房

■E.H. カー著（清水幾太郎訳）（1962）『歴史とは何か』（岩波新書）岩波書店

■吉野源三郎（1982）『君たちはどう生きるか』（岩波文庫）岩波書店

■イェーリング著（村上淳一訳）（1982）『権利のための闘争』（岩波文庫）岩波書店

■オルテガ・イ・ガセット著（神吉敬三訳）（1995）『大衆の反逆』（ちくま学芸文庫）筑摩書房

■サミュエル・ハンチントン著（鈴木主税訳）（2000）『文明の衝突と21世紀の日本』（集英社新書）集英社

■中村圭志（2014）『教養としての宗教入門』（中公新書）中央公論新社

■鬼頭秀一（1996）『自然保護を問いなおす』（ちくま新書）筑摩書房

法学部
Faculty of Law

消費情報環境法学科

Department
of
Current Legal Studies

人材養成上の目的・教育目標

学科の目指すもの

本学科は、先端分野の法律問題、とりわけ消費者問題、環境問題、企業活動上の問題について取り組みます。具体的には、情報通信技術の知見を活用しながら、これらの先端分野に関する法的な知識や思考力を身につけ、法的諸問題を柔軟に解決できる、実践力を備えた人材を育成することを目的としています。

そして、このような目的を達成するため、次の５つの教育目標を定めています。われわれは、これらの目標は皆さんが現代社会で活躍する上で必要不可欠なものであると考えています。

（1）多様な考え方を理解し、とりわけ弱者を尊重する力を身につける。
（2）現代社会に対する洞察力、分析力および対応能力を身につける。
（3）コンピュータを用いた情報の収集・処理・発信の技術を身につけ、問題解決のための論理的な対話能力を身につける。
（4）先端分野の法律問題を実践的・体系的に学ぶことを通じて、将来のキャリアをデザインする力を身につける。
（5）消費者の視点に立って現代社会を理解し、他者や自然環境と共に生きる力を身につける。

求める人材像

こんな学生に来てほしい！

本学科は、現代社会の諸問題を解決することを通じて、真に他者のために貢献しようとする強い意欲とそのために必要とされる基礎的な能力を有する入学者を求めています。そして現代社会の諸問題を解決できる人材になるためには、何よりもまず現代社会を形作っている法律を理解できる基礎的な能力が必要となります。具体的には次のとおりです。

（1）法学を学ぶための必須の能力として、読解力・思考力・表現力・文章力が不可欠であることから、特に国語の学力を有していること。
（2）現代社会の法律問題（先端分野の法）を学ぶ上で必要となる、地理歴史や政治経済の基礎学力を有していること。
（3）現代社会の法律問題（先端分野の法）は世界共通の課題として学ぶ必要もあることから、外国語とりわけ英語の基礎学力を有していること。
（4）情報処理や環境問題を学ぶ上で必要となる、数学、情報や自然科学の基礎学力を有していること。

選抜の種類と評価方法

出願の前にチェック！

（1）「全学部日程入試」、「A 日程入試」、「大学入学共通テスト利用入試」においては、一般筆記試験により、高等学校で修得すべき基礎的な能力（国語や外国語、地理歴史や政治経済、数学や理科についての基礎学力）を有しているか否かを評価します。
（2）「B 日程入試」においては、外国語の試験のほか、論述重点の記述式試験により、現代の社会問題に関心があり、論理的に考え表現できる思考力・判断力・表現力を有しているか否かを評価します。
（3）「自己推薦 AO 入試」においては、書類選考で、入学希望者がこれまで培ってきた能力や経験（資格、留学、課外活動、ボランティア、職業上の経験などを含む）が本学科の「求める人材像」に合致しているか否かを評価します。また、筆記試験で、英語と小論文の試験を行い、とりわけ小論文試験では、左記（2）と同様の能力を有しているか否かを評価します。そして、面接試験で、本学科で提供される学問への好奇心、現代の社会問題に対して主体的に取り組む意欲、論理的なコミュニケーションを行うことができる表現力などを有しているか否かを総合的に評価します。

推薦図書

読んでみよう！

皆さんには、社会に対する広い関心を持ってもらいたいと思います。私たちの身の周りに生じる出来事や問題は、必ず社会の仕組みに根差しています。社会の仕組み（法律）を知れば、私たちの生き方も見えてきます。そのために高校生の間に読んでほしい推薦図書の一部を以下に掲げます。

- 姜尚中（2008）『悩む力』（集英社新書）集英社
- 竹内一正（2008）『グーグルが日本を破壊する』（PHP 新書）PHP 研究所
- 村千鶴子（2004）『消費者はなぜだまされるのか』（平凡社新書）平凡社
- 正田彬（2010）『消費者の権利　新版』（岩波新書）岩波書店
- 大屋雄裕（2007）『自由とは何か一監視社会と「個人」の消滅』（ちくま新書）筑摩書房
- 池上彰（2007）『伝える力』（PHP ビジネス新書）PHP 研究所
- 青木人志（2005）『「大岡裁き」の法意識　西洋法と日本人』（光文社新書）光文社
- 山田隆司（2009）『名誉棄損一表現の自由をめぐる攻防』（岩波新書）岩波書店
- 内田貴（2011）『民法改正一契約のルールが百年ぶりに変わる』（ちくま新書）筑摩書房
- 水町勇一郎（2019）『労働法入門　新版』（岩波新書）岩波書店
- 津久井進（2012）『大災害と法』（岩波新書）岩波書店
- 池田真朗（2012）『民法はおもしろい』（講談社現代新書）講談社
- 長谷川俊明（2007）『リスクマネジメントの法律知識（第 2 版）』（日経文庫）日本経済新聞出版社
- 木村草太（2013）『憲法の創造力』（NHK 出版新書）NHK 出版
- 倉重公太朗ほか（2013）『なぜ景気が回復しても給料は上がらないのか～労働法の「ひずみ」を読み解く』労働調査会
- 田中一郎（2015）『ガリレオ裁判一400年後の真実』（岩波新書）岩波書店
- 角田由紀子（2013）『性と法律一変わったこと、変えたいこと』（岩波新書）岩波書店
- 秋山賢三（2002）『裁判官はなぜ誤るのか』（岩波新書）岩波書店
- 福井健策（2015）『18歳の著作権入門』（ちくまプリマー新書）筑摩書房
- 小塚荘一郎（2019）『AI の時代と法』（岩波新書）岩波書店
- 高橋則夫（2024）『刑の重さは何で決まるのか』（ちくまプリマー新書）筑摩書房
- 堀口悟郎・斎藤一久編（2024）『図録　法学入門』弘文堂

法学部
Faculty of Law

グローバル法学科

Department
of
Global Legal Studies

人材養成上の目的・教育目標

学科の目指すもの

グローバル法学科は、“Do for Others（他者への貢献）”という本学の教育理念のもとで、「柔軟な異文化理解力」と「実践的なコミュニケーション能力」に裏付けられた「法的な解決能力」を使いこなして、さまざまな分野で「グローバル人材」として活躍することのできる人材の育成を目指しています。つまり、法的な知識と解決能力を身につけたうえで、世界のあり方に責任をもって行動する「世界市民」として国境を越えて活躍できるような「グローバル人材」の育成を教育の目標としています。

求める人材像

こんな学生に来てほしい！

（1）知識・技能、思考力・判断力・表現力等において、高等学校等で修得すべき基礎的な能力を身につけていることを受験生に求めます。

（2）急速にグローバル化する政治・経済・文化状況に関心を持つとともに、「柔軟な異文化理解力」と「実践的なコミュニケーション能力」に裏付けられた「法的な解決能力」を身につけた上で、世界のあり方に責任をもって行動する「世界市民」として国境を越えて活躍しようとする高い志を持っている受験生を歓迎します。

（3）英語に対する強い関心と潜在的な能力を持っていることを期待します。

自己推薦 AO 入試を受験する皆さんへ

グローバル法学科の自己推薦 AO 入試の「小論文」と「英語」では、学科での学びに関わる課題文を読み、問いに答えていただきます。「英語」では、英文法の基礎力を問う問題に答えていただきます。

グローバル法学科の授業では、グローバル化した社会における持続可能な開発目標 SDGs、戦争と平和、安全保障、正義、人権・人道問題、気候変動や海洋プラスチックごみなどの環境問題、国際結婚や国際取引などの国境を越えた法律問題などについて学びます。

学科での学びに対応した推薦図書を掲げます。自己推薦 AO 入試の準備の参考になさってください。

推薦図書

読んでみよう！

グローバル法学科の教員がお薦めする本です。正義論、交渉による紛争解決、人権、環境、倫理。いずれもグローバル法学科での学びにつながる本です。

- マイケル・サンデル著（鬼澤忍訳）（2011）『これからの「正義」の話をしよう』（ハヤカワ・ノンフィクション文庫）早川書房
- フィッシャー＆ユーリー著（金山宣夫・浅井和子訳）（1990）『ハーバード流交渉術』（知的生きかた文庫）三笠書房
- 篠田英朗（2021）『紛争解決ってなんだろう』（ちくまプリマー新書）筑摩書房
- 申惠丰（シン ヘ ボン）（2020）『友だちを助けるための国際人権法入門』影書房
- 筒井清輝（2022）『人権と国家』（岩波新書）岩波書店
- 宇佐美誠（2021）『気候崩壊 次世代とともに考える』（岩波ブックレット）岩波書店
- 夫馬賢治（2021）『超入門カーボンニュートラル』（講談社＋α新書）講談社
- 仲村和代、藤田さつき（2019）『大量廃棄社会』（光文社新書）光文社
- 加藤尚武（2020）『新・環境倫理学のすすめ【増補新版】』丸善出版
- 末吉里花（2016）『はじめてのエシカル 人、自然、未来にやさしい暮らしかた』山川出版社

教員の著書

グローバル法学科の教員がここ数年に執筆した本です。憲法、人権・人道法、環境法、国際法、海洋法、国際私法、ワイン法、フランス法、日本研究。いずれもグローバル法学科での学びに関係する本です。

- 蛯原健介（2020）『日本のワイン法』虹有社
- 蛯原健介（2021）『オンライン学習時代の憲法入門』成文堂
- 蛯原健介ほか共編著（2023）『フランス憲法と社会』法律文化社
- 東澤靖（2021）『国際人道法講義』東信堂
- 東澤靖（2022）『国際人権法講義』信山社
- 申美穂ほか共著（2024）『国際私法（第２版）』（有斐閣ストゥディア）有斐閣
- 鶴田順ほか共編（2021）『국제환경법강의（国際環境法講義）』韓国・博英社
- 鶴田順（2024）『国際法講義（第4版）』成文堂
- 鶴田順ほか共編（2022）『国際環境法講義（第２版）』有信堂高文社
- 鶴田順ほか共編（2022）『環境問題と法：身近な問題から地球規模の課題まで』法律文化社
- 鶴田順（2024）『海の安全保障と法ー日本はグレーゾーン事態にいかに対処すべきか』信山社
- 鶴田順（２０２５）*Japanese Implementation of the International Law of the Sea*, Seibundoh
- ヴァラー・モリー（2019）*Not Seeing Snow: Musō Soseki and Medieval Japanese Zen*, Brill

法学部
Faculty of Law

政治学科

Department
of
Political Science

人材養成上の目的・教育目標

学科の目指すもの

政治とは、身近な近隣社会から国際社会に至るまで、およそ人間社会で発生する問題を解決するため、社会のメンバーが共同の意思決定に参加し、実地に問題解決にあたる営為です。政治学科は、この認識を前提として、本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”を実現するため、総合的な学問である政治学の専門知識を教授し、「教養ある政治的市民」を育成します。「教養ある政治的市民」とは、政治に関する問題発見・分析能力に加えて、正論を述べる勇気と他者への想像力を備え、品位ある市民社会の一員として積極的に社会との関わりを志向する意欲に満ちた人材のことを指し、政治学科は、このような人材の養成を教育目標とします。

求める人材像

こんな学生に来てほしい！

（1）“Do for Others（他者への貢献）”という教育理念を理解し、実践する知性を持っている人材。すなわち、知識・技能、思考力・判断力・表現力等において、高等学校等で修得すべき基礎的な能力を身につけている人材。

（2）在学中も卒業後も品位ある市民社会の一員として、積極的に社会との関わりを志向する人材。つまり、国の内外を問わず、また事の大小を問わず、世の中の動きに対して常に新鮮な問題関心を持って取り組むことができる意欲がある人材。

（3）正論を述べる勇気と他者の境遇への想像力を持つ人間が、今後の日本社会をより良い方向へと導くという希望を共有している人材。

推薦図書

読んでみよう！

政治学科教員による論集で、それぞれの専門領域の問題を政治学的視点から分析した、入門テキストです。

■明治学院大学法学部政治学科編（2020）『初めての政治学 ポリティカル・リテラシーを育てる（増補第３版）』風行社

■明治学院大学法学部政治学科編（2021）『政治学の扉：言葉から考える（増補第２版）』風行社

政治学科教員がお薦めする図書の一部です。興味があるテーマのものをぜひ読んでみてください。

■秋吉貴雄（2017）『入門 公共政策学 社会問題を解決する「新しい知」』（中公新書）中央公論新社

■前田健太郎（2019）『女性のいない民主主義』（岩波新書）岩波書店

■宇野重規（2020）『民主主義とは何か』（講談社現代新書）講談社

■W.リップマン著（掛川トミ子訳）（1987）『世論【上・下】』（岩波文庫）岩波書店

■逢坂巌（2014）『日本政治とメディア：テレビの登場からネット時代まで』（中公新書）中央公論新社

■高坂正堯（2017）『国際政治ー恐怖と希望（改版）』（中公新書）中央公論新社

■藤原帰一（2022）『「正しい戦争」は本当にあるのか』（講談社＋α新書）講談社

国際学部
Faculty of International Studies

国際学科

Department
of
International Studies

人材養成上の目的・教育目標

学科の目指すもの

国際学科の教育理念は、本学の建学の精神にのっとり、世界に広く目を向け、社会、経済問題や、さまざまな文化に対する理解力を備えた人を育成することにあります。この理念のもと、国際学科では、グローバル社会が直面する多様な問題を考察し、分析する力を身につけるために、政治、経済、文化の３つの学問分野に関する専門科目を提供し、さらに学習の指針となる平和研究、環境問題、多文化社会、比較文化、国際・比較政治、比較法政の専攻を設けています。また、教室で学んだことを確認するために、留学、国内外のインターンシップ、校外実習等の教室外における学習を重視しています。多様な国際的実地経験を通して社会的知性を身につけ、文化の多様性に対する理解力、および幅広い視野と異文化間コミュニケーション能力を備えた、国際的に活動できる人を養成することを教育目標とします。

求める人材像

こんな学生に来てほしい！

国際学科は、左記の「教育理念と教育目標」を受けて、本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”に共感し、現代社会の諸問題に関心を持ち、主体的な学びを通して共生社会の担い手となる意欲を持っている人を求めます。特に、グローバル化している社会において、自分で考えることの重要性を理解し、自主的に、かつ積極的に活躍しようという意欲のある人を歓迎します。具体的には、次のとおりです。

(1) 国際学の学びに取り組む上で必要な社会に対する関心と探究心に富む人
(2) 国際学科での学びに取り組む上で必要な学習能力を身につけており、自分の考えや意見を明確に表現したいと考えている人
(3) グローバルな社会で、他者・他国の人々の考えや行動を理解し、ともに考え、働くことに喜びを見出したい人

推薦図書

読んでみよう！

国際学科は、平和研究、環境問題、多文化社会、比較文化、国際・比較経済、比較法政等、幅広く学べる学科ですが、そのためには、学びの設計図を自ら描く必要があります。そのためにも、読書をお勧めします。

昨今、インターネットで検索すれば莫大な情報を一瞬のうちに入手できますが、情報を集めるだけでは、論理的な思考力を育むことはできません。本を読むことで、自分の関心をより深め、自分の関心を把握するための視野を広げることができるのです。国際学科の教員による推薦図書の一部をご紹介します。興味をそそられるタイトルがあれば、ぜひ、実際に本を手にして読んでみてください。

■荒このみ編訳（2008）『アメリカの黒人演説集ーキング・マルコムＸ・モリスン　他ー』（岩波文庫）岩波書店

■大村敦志（2005）『父と娘の法入門』（岩波ジュニア新書）岩波書店

■金井真紀（2022）『日本に住んでる世界のひと』大和書房

■菊池聡（2018）『〈超・多国籍学校〉は今日もにぎやか！：多文化共生って何だろう』（岩波ジュニア新書）岩波書店

■岸由二、柳瀬博一（2016）『「奇跡の自然」の守りかた：三浦半島・小網代の谷から』（ちくまプリマー新書）筑摩書房

■坂井豊貴（2015）『多数決を疑う一社会的選択理論とは何か』（岩波新書）岩波書店

■眞淳平（2015）『地図で読む「国際関係」入門』（ちくまプリマー新書）筑摩書房

■生源寺眞一（2018）『新版 農業がわかると、社会のしくみが見えてくる一高校生からの食と農の経済学入門』家の光協会

■鈴木孝夫（1973）『ことばと文化』（岩波新書）岩波書店

■高橋真樹（2017）『ぼくの村は壁で囲まれた　～パレスチナに生きる子どもたち～』現代書館

■高橋和夫（2024）『なるほどそうだったのか！ ハマスとガザ戦争』幻冬舎

■ドミニク・チェン著（2022）『未来をつくる言葉　わかりあえなさをつなぐために』（新潮文庫）新潮社

■成田龍一（2015）『戦後史入門』河出書房新社

■長谷川櫂（2016）『文学部で読む日本国憲法』（ちくまプリマー新書）筑摩書房

■ヴィクトール・E・フランクル著（池田香代子訳）（2002）『夜と霧（新版）』みすず書房

■古市徹雄（2007）『カラー版 世界遺産の建築を見よう』（岩波ジュニア新書）岩波書店

■水島治郎（2016）『ポピュリズムとは何か：民主主義の敵か、改革の希望か』（中公新書）中央公論新社

■宮田律（2017）『ナビラとマララ：「対テロ戦争」に巻き込まれた二人の少女』講談社

■山下祐介（2020）『地域学をはじめよう』（岩波ジュニア新書）岩波書店

■山本一巳、山形辰史編（2007）『国際協力の現場から一開発にたずさわる若き専門家たち』（岩波ジュニア新書）岩波書店

■小西雅子（2016）『地球温暖化は解決できるのか　パリ協定から未来へ！』（岩波ジュニア新書）岩波書店

■平賀緑（2021）『食べものから学ぶ世界史　人も自然も壊さない経済とは？』（岩波ジュニア新書）岩波書店

■美馬のゆり（2021）『AIの時代を生きる　未来をデザインする創造力と共感力』（岩波ジュニア新書）岩波書店

■西村幹子、小野道子、井上儀子（2021）『SDGs時代の国際協力　アジアで共に学校をつくる』（岩波ジュニア新書）岩波書店

■山下泰子、矢澤澄子監修、国際女性の地位協会編（2018）『男女平等はどこまで進んだか女性差別撤廃条約から考える』（岩波ジュニア新書）岩波書店

国際学部
Faculty of International Studies

国際キャリア学科

Department
of
Global and Transcultural Studies

人材養成上の目的・教育目標

学科の目指すもの

国際キャリア学科は、グローバル社会の諸問題に対して、政治・経済・文化・社会の各分野からの総合的な理解能力を養うとともに、多言語でのコミュニケーション能力を身につけ、多様な環境の下に生きる人々と協力し、リーダーシップを発揮できる能力を持つ人材を養成することを目標とします。

求める人材像

こんな学生に来てほしい！

(1) 国際キャリア学科の学びを行うために必要な、高等学校等で修得すべき基礎的な能力を身につけている人。

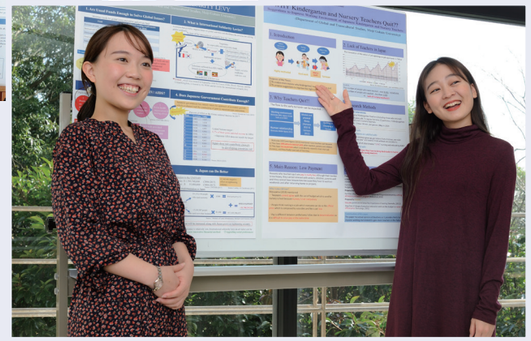
(2) 本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”を理解し、それに共感し、現代社会の諸問題に関心が強く、国際キャリア学科の教育目標とカリキュラムを良く理解し、率先して国際学を学ぶことを通して、共生社会の担い手となる意欲を持っている人。

(3) 多様な観点から問題を理解する意欲、問題解決を試みる意欲、多くの異なる人々と共同作業をする意欲を持ち、英語の基礎能力とそれを向上させる能力を持っている人。

推薦図書

読んでみよう！

- Nobuko Kawashima and Hye-Kyung Lee, eds. (2018)『*Asian Cultural Flows: Cultural Policies, Creative Industries, and Media Consumers*』Springer
- Bell Hooks (2015)『*Feminism Is for Everybody: Passionate Politics*』Routledge
- William M. Tsutsui (2010)『*Japanese Popular Culture and Globalization*』(Key issues in Asian Studies) Association for Asian Studies
- Albert O. Hirschman (1970)『*Exit, Voice, and Loyalty: Responses to Decline in Firms, Organizations, and States*』Harvard University Press
- Kenneth N. Waltz (2018)『*Man, the State, and War : a Theoretical Analysis*』Columbia University Press
- Jonas Pontusson (2005)『*Inequality and Prosperity: Social Europe vs. Liberal America*』(Cornell Studies in Political Economy) Cornell University Press
- Muhammad Yunus and Alan Jolis (2003)『*Banker to the Poor*』Aurum Press
- Daniel Kahneman (2012)『*Thinking, Fast and Slow*』Penguin Books
- Gad Saad (2020)『*The Parasitic Mind: How Infectious Ideas Are Killing Common Sense*』Regnery Publishing
- George Orwell (1945)『*Animal Farm*』(original publisher) Secker and Warburg
- Annabelle Mooney and Betsy Evans (2007)『*Globalization: The Key Concepts*』Routledge
- George Ritzer and Paul Dean (2015)『*Globalization: A Basic Text*』Wiley Blackwell
- Manfred B. Steger (2020)『*Globalization: A Very Short Introduction*』(Very Short Introductions) Oxford University Press
- Matthew Taylor and David Kluge (2011)『*Basic Steps to Academic Writing : From Paragraph to Essay*』Cengage Learning
- 大竹文雄（2005）『経済学的思考のセンスーお金がない人を助けるには』（中公新書）中央公論新社
- 瀬谷ルミ子(2015)『職業は武装解除』(朝日文庫)朝日新聞出版
- 堤未果（2011）『社会の真実の見つけかた』（岩波ジュニア新書）岩波書店
- 土佐昌樹、青柳寛編（2005）『越境するポピュラー文化と〈想像のアジア〉』めこん
- デビッド・C. ポロックほか著（嘉納ももほか訳）（2023）『新版　サードカルチャーキッズ　国際移動する子どもたち』スリーエーネットワーク



心理学部
Faculty of Psychology

心理学科

Department
of
Psychology

人材養成上の目的・教育目標

学科の目指すもの

心理学科では、心理学部の教育理念「こころを探り、人を支える」に基づき、本学科の教育目標を次のように定めています。

・心理学を研究するためのさまざまな方法を身につける。
・各自が関心を持つ心理学の領域に関する専門的な知識や技能を身につける。
・自己理解をふまえ、他者との関わりを通じて豊かな人間性と幅広い視野を養い、現代社会のさまざまな課題に取り組む積極的な姿勢を身につける。

求める人材像

こんな学生に来てほしい！

心理学科では次の条件を満たす方を歓迎します。

(1) 学修能力
知識・技能、思考力・判断力・表現力等において、高等学校等で修得すべき基本的な能力を身につけていること。

(2) 問題解決力
本学の教育理念 “Do for Others（他者への貢献）” を理解し、またその理念に共感していること。現代社会に生起するさまざまな問題に関心をもち、心理学の主体的な学びを通して共生社会の担い手となる意欲をもっていること。

(3) 科学的視点
心理学部の教育理念「こころを探り、人を支える」の意義を理解し、こころを科学的に探究する意欲をもっていること。

(4) 社会貢献
より良い人間関係と、より良い社会を創ることに興味・関心をもっていること。

推薦図書

読んでみよう！

「こころを探り、人を支える」ためには、こころの仕組みや行動のメカニズム、またさまざまな社会事象のプロセスを科学的に理解する必要があります。「入門編」図書は、その一歩を進めるガイドとなってくれます。もう少し深く心理学へのアプローチを進めたい場合は、「臨床領域」「基礎領域」の各図書を参考にしてください。心理学がどのようにわたしたちの生活に役立ち、社会課題の解決に結びついているのか理解することができます。

入門編

■宮本聡介・伊藤拓編著（2019）『高校生に知ってほしい心理学：どう役立つ?どう活かせる?（第２版）』学文社

■松井豊編（2000）『高校生のための心理学』大日本図書

■伊藤哲司（2010）『常識を疑ってみる心理学ー自分なりのモノサシを持つ（第三版）』北樹出版

■サトウタツヤ（2015）『心理学の名著 30』（ちくま新書）筑摩書房

■（2002）『心理学ジュニアライブラリ』シリーズ（全９巻）北大路書房

□0巻 市川伸一『心理学って何だろう』

□1巻 麻柄啓一『じょうずな勉強法ーこうすれば好きになる』

□2巻 秋田喜代美『読む心・書く心ー文章の心理学入門』

□3巻 奈須正裕『やる気はどこから来るのかー意欲の心理学理論』

□4巻 三宮真智子『考える心のしくみーカナリア学園の物語』

□5巻 吉田寿夫『人についての思い込み〈1〉悪役の人は悪人?』

□6巻 吉田寿夫『人についての思い込み〈2〉A 型の人は神経質?』

□7巻 森永康子『女らしさ・男らしさージェンダーを考える』

□8巻 小泉令三『新しい出会いを活かして一転校を心理学する』

臨床領域

■平木典子（2020）『新・カウンセリングの話』（朝日選書）朝日新聞出版

■平木典子（2007）『図解：自分の気持ちをきちんと〈伝える〉技術ー人間関係がラクになる自己カウンセリングのすすめ』PHP 研究所

■丹野義彦・坂本真士（2001）『自分のこころからよむ臨床心理学入門』東京大学出版会

■神谷美恵子（1974）『こころの旅』日本評論社

■伊藤絵美（2021）『コーピングのやさしい教科書』金剛出版

■下山晴彦監修（2012）『面白いほどよくわかる！臨床心理学』西東社

■杉原保史（2015）『プロカウンセラーの共感の技術』創元社

基礎領域

■D.A. ノーマン著（岡本明ほか訳）（2015）『誰のためのデザイン? 認知科学者のデザイン原論（増補・改訂版）』新曜社

■下條信輔（2008）『サブリミナル・インパクトー情動と潜在認知の現代』（ちくま新書）筑摩書房

■ニコラス・エブリー著（波多野理彩子訳）（2017）『人の心は読めるか?：本音と誤解の心理学』（ハヤカワ文庫）早川書房

■リー・コールドウェル著（武田玲子訳）（2013）『価格の心理学：なぜ、カフェのコーヒーは「高い」と思わないのか?』日本実業出版社

■越智啓太ほか編著（2017）『テキスト 司法・犯罪心理学』北大路書房

心理統計・リテラシー領域

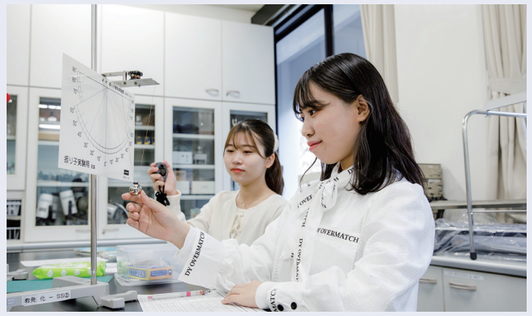
■山田剛史・金森保智編著（2022）『エピソードで学ぶ統計リテラシー：高校から大学、社会へとつながるデータサイエンス入門』北大路書房

■松村むつみ（2020）「自身を守り家族を守る医療リテラシー読本」翔泳社

心理学部
Faculty of Psychology

教育発達学科

Department
of
Education and Child Development



人材養成上の目的・教育目標

学科の目指すもの

教育発達学科が目指すものは、「教育発達学の視点からの教育実践力、および発達支援力のある人材の養成」です。「教育発達学」は、発達や障害に関するメカニズムの理解を基礎とした上で、系統的な教育システムのあり方について分析的・科学的に探求する教育学、心理学、障害科学を融合した学問です。そこで本学科では、人間の生活全体を視野に入れ、教育発達学を基礎として、多様な現場での体験活動を通して、生涯発達における学校との接点を実践的に学び、現代の子どもをめぐる心理的課題に適切に対処できる教育の原理と方法を学修し、学校教育や生涯学習の場における高い教育実践力、および発達支援力を身につけることを目指しています。

求める人材像

こんな学生に来てほしい！

(1) 教育発達学科における教育課程に取り組む前提として、知識・技能、思考力・判断力・表現力等において、高等学校等で修得すべき基礎的な能力を身につけている学生。

(2) 本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”を理解・共感し、現代社会に生起するさまざまな問題に関心を持ち、心理学の主体的な学びを通して共生社会の担い手となる意欲を持っている学生。

(3) 心理学部の教育理念「こころを探り、人を支える」の意義を理解し、特に次の特性を持つ学生を歓迎します。
①子どもの心の理解と支援に強い関心を持っていること。
②小学校教員、幼稚園教員、特別支援学校教員等として、共生社会の担い手となる意欲を強く持っていること。
③ボランティア経験や国際交流経験などを有し、多様な人々とのコミュニケーションに興味・関心を持っていること。

推薦図書

読んでみよう！

心理学の分野

〈入門編〉

- (2002)『心理学ジュニアライブラリ』シリーズ（0～8巻）北大路書房※P.31～P.32に詳細
- 河合隼雄（2014）『〈子どもとファンタジー〉コレクションⅤ 大人になることのむずかしさ』（岩波現代文庫）岩波書店
- 松井豊（2000）『高校生のための心理学』大日本図書
- 鷲田清一（1996）『じぶん・この不思議な存在』（講談社現代新書）講談社
- ダニエル・キイス著（小尾芙佐訳）（2015）『アルジャーノンに花束を』（ハヤカワ文庫）早川書房

〈もっと知りたい人へ〉

- 東洋（1994）『日本人のしつけと教育―発達の日米比較にもとづいて』東京大学出版会
- 河合隼雄（1992）『子どもと学校』（岩波新書）岩波書店
- 恒吉僚子（1992）『人間形成の日米比較―かくれたカリキュラム』（中公新書）中央公論新社
- 津守真（1987）『子どもの世界をどうみるか―行為とその意味』（NHKブックス）日本放送出版協会
- 三宅和夫（1990）『子どもの個性―生後2年間を中心に』東京大学出版会
- 箕浦康子（1990）『文化のなかの子ども』東京大学出版会

教育学（初等教育）の分野

〈入門編〉

- 上田薫（1980）『人間のための教育』国土社
- 遠藤寛子（2006）『算法少女』（ちくま学芸文庫）筑摩書房
- 黒柳徹子（2015）『窓ぎわのトットちゃん（新組版）』（講談社文庫）講談社
- 子安美知子（1996）『シュタイナー教育を考える』学陽書房
- 子安美知子（1975）『ミュンヘンの小学生　娘が学んだシュタイナー学校』（中公新書）中央公論新社
- 谷川俊太郎（2007）『詩ってなんだろう』（ちくま文庫）筑摩書房
- 阿部純一・宮崎謙一・榊原彩子編著（2021）『絶対音感を科学する』全音楽譜出版社
- 友添秀則・近藤良享（2000）『スポーツ倫理を問う』大修館書店
- 仲島正教（2006）『教師力を磨く』大修館書店
- 齋藤亜矢（2014）『ヒトはなぜ絵を描くのか』（岩波科学ライブラリー）岩波書店

〈もっと知りたい人へ〉

- 大野晋（1999）『日本語練習帳』（岩波新書）岩波書店
- 下野六太（2011）『やればできる！を味わえば子どもは伸びる』PHP研究所
- フィリップ・ワロン著（加藤義信、井川真由美訳）（2002）『子どもの絵の心理学入門』（文庫クセジュ）白水社

障害科学の分野

〈入門編〉

- 重松清（2005）『きよしこ』（新潮文庫）新潮社
- 重松清（2010）『青い鳥』（新潮文庫）新潮社
- 本田秀夫（2021）「子どもの発達障害　子育てで大切なこと、やってはいけないこと」（SB新書）SBクリエイティブ
- 村上春樹（2012）『1Q84』全6巻（新潮文庫）新潮社

〈もっと知りたい人へ〉

- 白鳥めぐみ他（2010）『きょうだい―障害のある家族との道のり』中央法規出版
- 野辺明子他編（2008）『障害をもつ子が育つということ―10家族の体験』中央法規出版

その他の分野

- ミヒャエル・エンデ著（上田真而子、佐藤真理子訳）（2000）『はてしない物語』上下（岩波少年文庫）岩波書店
- 池上彰（2007）『伝える力「話す」「書く」「聞く」能力が仕事を変える!』（PHPビジネス新書）PHP研究所
- レイチェル・カーソン著（上遠恵子訳）（1996）『センス・オブ・ワンダー』新潮社
- 内田樹（2005）『先生はえらい』（ちくまプリマー新書）筑摩書房
- 小川洋子（2007）『物語の役割』（ちくまプリマー新書）筑摩書房
- 菅野仁（2010）『教育幻想―クールティーチャー宣言』（ちくまプリマー新書）筑摩書房
- 池谷裕二（2007）『進化しすぎた脳―中高生と語る「大脳生理学」の最前線』（ブルーバックス）講談社
- 養老孟司（2003）『養老孟司の「逆さメガネ」』（PHP新書）PHP研究所

情報数理学部
Faculty of Mathematical Informatics

情報数理学科

Department
of
Mathematical Informatics

人材養成上の目的・教育目標

学科の目指すもの

最先端の人工知能（AI）や量子情報技術など、急速に変化・発展する現代の情報科学の技術革新に対応するためには、その技術の背後にある基礎的な数学（数理）を理解することが重要です。

情報数理学科では、情報科学の基礎をなす数学力（数理的理解力）に基づいた応用力・問題解決能力を身につけていく教育を行い、多様な学問領域の存在を意識しながら自身が持つ専門性を拡げていくことができる人材を育てます。

また、単なる技能・技術の修得のみではなく、人と AI が高いレベルで共存する近未来において、今後ますます重要となっていく人と技術の関わり方についても深く学び、高い倫理性を兼ね備えながら、明治学院大学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”を、国際的な視点から高度情報通信技術（高度 ICT）の利活用によって実現していくことを目標としています。

カリキュラムでは、3 年次以降に「数理・量子情報コース」、「AI・データサイエンスコース」、「情報システム・セキュリティコース」のいずれかのコースを軸に学び、Project Based Learning（課題解決型学習）など実践的な科目も通じて、卒業後の進路として幅の広い職種に対応することができます。

求める人材像

こんな学生に来てほしい！

情報数理学科では、これからの人と社会に深く関わる AI など最先端の情報技術に興味を持ち、以下のような資質を持った受験生の入学を歓迎します。

（1）現代の先端情報技術を理解し、情報数理学部における学びに取り組む前提として、知識・技能、思考力・判断力・表現力などにおいて、高等学校などで修得すべき基礎的な能力を身につけている。

（2）本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”の意義を理解し、情報技術を通じて、この理念を社会へ還元するための学修意欲を備えている。

（3）情報技術を社会における幅広い問題の解決手段として応用し、活用しようとする強い意欲を持っている。

高校時代にチャレンジ！

ソフトウェアやアプリケーションを自作したり、Web サービスを作成して運用したりすることは、趣味の延長としてコンピュータの知識や技術を磨くことができ、情報数理学科での学びにとても役に立ちます。また、以下に挙げる数学やコンピュータ（情報技術）に関する、コンテストや資格試験に挑戦してみても良いでしょう。（中学生・高校生向けに行われているものもたくさんあります。）

競技大会、コンテスト

日本数学オリンピック、日本情報オリンピック、科学の甲子園、プログラミングコンテスト、統計データ分析コンペティション、ハッカソン、ロボコン、など（出場に向けて、過去の問題や課題を調べ、勉強するだけでも価値があります。）

検定、資格試験

数学検定、統計検定、IT パスポート試験、P 検、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験　など

推薦図書

読んでみよう！

理系の学科でも本を読むことは大切で、技術文書や仕様書などの読み書きにも役立ちます。また、難しい数学や理論を学ぶときには、啓蒙書や解説書を読んでそのイメージをつかんでおくことも理解の助けになります。以下に挙げたような本を入学前にぜひ手に取ってみてください。

論理、数学、量子情報

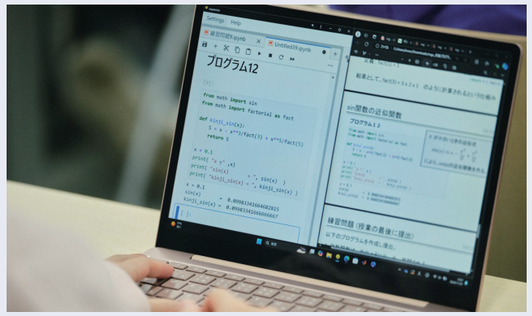
- 寺阪英孝（2014）『非ユークリッド幾何の世界』新装版（ブルーバックス）講談社
- 野矢茂樹（2001）『論理トレーニング 101 題』産業図書
- 『特集　量子もつれ実証　アインシュタインの夢 ついえる』（日経サイエンス 2019 年 02 月号）
- 武田俊太郎（2020）『量子コンピュータが本当にわかる！第一線開発者がやさしく明かすしくみと可能性』技術評論社

AI、データサイエンス

- 松尾豊（2019）『超 AI 入門　ディープラーニングはどこまで進化するのか』NHK 出版
- マーカス・デュ・ソートイ著（冨永星訳）（2020）『レンブラントの身震い』新潮社
- 西内啓（2013）『統計学が最強の学問である　データ社会を生き抜くための武器と教養』ダイヤモンド社
- 北川源四郎、竹村彰通編（2024）『教養としてのデータサイエンス』改訂第 2 版（データサイエンス入門）講談社

アルゴリズム、計算理論、情報システム、情報セキュリティ

- 高岡詠子（2014）『チューリングの計算理論入門』講談社
- Wladston Ferreira Filho 著（小山裕司訳）（2019）『みんなのコンピュータサイエンス いま知っておきたい IT 技術を支える基礎教養』翔泳社
- ブライアン・カーニハン著（酒匂寛訳）（2022）『教養としてのコンピューターサイエンス講義 今こそ知っておくべき「デジタル世界」の基礎知識』日経 BP
- サイモン・シン著（青木薫訳）（2007）『暗号解読（上下）』（新潮文庫）新潮社



明治学院大学の年内入試について

年内で合格を決めることができる本学の入試のうち、2つの入試制度についてまとめました。

自己推薦AO入学試験（総合型選抜）

学力試験だけでは測ることのできない、受験生の個性や意欲を重視し、多角的に人物評価する入試制度です。
気になる学科が見つかった方は、本冊子の該当ページを読み込んで自己推薦AO入学試験（総合型選抜）に向けて準備を進めてみましょう。

●入試のポイント

1 本学を第一志望とする受験生向け

出願する学科を第一志望とし、入学を確約できる方が対象となります。他大学との併願は可能です。ただし、本学に合格した場合は入学していただくことが条件です。

2 14学科で実施

経済学部経済学科・経営学科、法学部法律学科の3学科を除く、14学科で実施しています。1学科のみ出願可能です。

3 学校長の推薦は不要

学校推薦型選抜とは異なり、学校長の推薦状は不要です。

4 二段階で選抜

出願書類による一次選考、面接や小論文などによる二次選考の二段階で選抜します。
学科によって出願資格・試験科目は異なりますので、詳細は大学案内や入学試験要項をご確認ください。

5 年内に合格が決まる

合格が決まるのは12月上旬。学校推薦型選抜と並び、本学の入試の中で最も早く合格が決まります。

●入試日程

□ 第一次出願期間（振込期限／消印有効）
2025 9/19(金)~9/26(金)
↓
□ 第一次選考（書類審査）結果通知
10月下旬、選考結果を通知
↓
□ 第二次出願期間（第一次選考通過者のみ）
2025 10/23(木)~10/29(水)
↓
□ 第二次選考試験日／試験場
2025 11/16(日)／白金キャンパス
↓
□ 合格発表日
2025 12/5(金)
↓
□ 手続締切日（振込期限／消印有効）
2025 12/12(金)

指定校推薦入学試験（学校推薦型選抜）

本学では過去の入学実績などを総合的に勘案し、指定校推薦入学試験への志願者推薦を依頼する高等学校を毎年決定しています。

●選考方法［面接または小論文］

面接では高校生活の話だけではなく、志望する学科に進学してどのようなことを学びたいか、そしてそれを将来どのように活かしていきたいのかを具体的に話せるようにしましょう。小論文では、新聞等メディアで取り上げられている社会問題、時事問題に関心を持ち、自分の考えをまとめられるようにしましょう。
※指定校推薦入学試験について、志願者から本学への問い合わせは受け付けておりません。

●スケジュール

毎年7月上旬に高等学校宛に推薦依頼を発送しています。
指定校推薦枠については7月上旬以降に担任または進路指導の先生に確認してください。

進学イベント

大学案内や受験情報誌だけでは分からない、
「明学」をもっと深く知るイベントを実施しています。

各イベントの詳細な日程は
こちらからご確認ください。

オープンキャンパス

□ 開催日程

横浜キャンパス
2025 8/2(土)・8/3(日)

白金キャンパス
2025 8/22(金)・8/23(土)
2026 3/20(金・祝)

進学相談会

■ 進学相談会

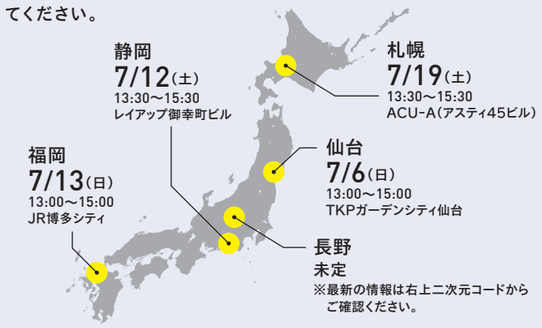
全国各地で開催される進学相談会に参加します。さまざまな質問や相談にお答えします。

■ 他大学との合同説明会

個別相談のほかに、大学紹介や入試制度などを説明します。

One Day Campus

教職員や地元出身の明学生が登場する出張オープンキャンパス。大学生活、大学での学びなど明治学院大学の魅力を体感してください。



オンラインイベント

■ オンライン大学説明会

部活や授業で忙しい方、遠方にお住まいの方など、どなたでも大歓迎！ 手軽に参加可能です。

■ オンライン個別相談

入試センターのスタッフが相談や質問にお答えします。お気軽にご相談ください。

明学を知ろう!!

明治学院大学の最新情報をチェック！
さまざまなSNS、Webコンテンツで
明学の今を知ろう。

明治学院大学▶@MeijiGakuinUniv
明治学院大学入学インフォメーション▶@MGU_Admissions

明治学院大学公式Instagram▶mguniv

明治学院大学▶MeijiGakuinUniversity

明治学院大学オフィシャルチャンネル▶meijigakuin

明治学院大学 入学インフォメーション▶@mgu_admissions

明治学院大学

■ 白金キャンパス
〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

■ 横浜キャンパス
〒244-8539 神奈川県横浜市戸塚区上倉田町1518

お問い合わせ：明治学院大学 入学インフォメーション
Tel.03-5421-5151［月～金 9:00～16:00／土 9:00～12:00］
※日曜日・祝日は除きます

https://www.meijigakuin.ac.jp/admission